

2015～2016年度

Weekly Report



【真岡市 真岡駅とSLキューロク館】 ※神奈川県 ライス様撮影

2015. 9. 17 NO. 2767

国際ロータリークラブ会長テーマ 「世界へのプレゼントになろう」

国際ロータリー第2550地区

真岡ロータリークラブ会長テーマ 「入って学び 出でて奉仕せよ」

真岡ロータリークラブ 会長 田村 浩次

- 司会 副SAA 久保 賢司君
- 点鐘 会長 田村 浩次君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- お客様 米山記念奨学生
- チュア・チー・シェン君

■会長挨拶 会長 田村 浩次君

本日のお客様は米山奨学生のチュア・チー・シェン君です。ようこそいらっしゃいました。



先週の台風がもたらした各地の被害は、台風が去ってから、その大きさを連日の報道を通じて知ることが出来ます。50年に

一度ともいわれる大雨による栃木、茨城、宮城の3地区の大雨特別警報で、天災の怖さを思い知らされました。報道をご覧になった広島三原RCから真岡RCを心配して下さる連絡が来ました。幸い当クラブにおいては大きな被害を受けた会員はいないとの報告はしましたが、各地区における被災の影響は今後より深

刻になることと思います。

このような災害時には私達ロータリアンは何か奉仕が出来ないかと考えます。今までも国外、国内の災害時には被災地の皆様方に寄付金を送る活動をしてきました。今回の国際ロータリーテーマでもあり、真岡RCの方針でもある「自分たちのできる範囲の中で奉仕活動を実践する」という方針に沿って、例会場に募金箱を置きました。まずは会員よりの寄付を募り、できればクラブとしても今後何らかの対応をしていきたいと考えています。来月の理事会等に語りたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解と協力をお願いいたします。

今日の例会プログラムは新人会員の卓話です。今日の卓話者は平石典嗣会員・石井誠会員です。お二人はすでに入会してだいぶ時間が経過してしまい、ある程度周りの会員もその人となりを理解していると思いますが、新入会員の卓話を聞くことにより、いっそう人柄や仕事についての理解が深まるわけですので、会員の皆さんが楽しみにしているプログラムです。発表する平石さん、石井さんよろしくお祈りいたします。

月曜日

宇都宮90⇒東武ホテルグランデ
小山中央⇒思 水 荘

火曜日

真岡西⇒フォーシーズン静風
宇都宮⇒東武ホテルグランデ
宇都宮東⇒ホテルニューイタヤ

水曜日

益子⇒益子カントリー
しもつけ⇒石橋商工会館

木曜日

宇都宮西⇒東武ホテルグランデ
宇都宮北⇒宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東⇒ウイ・テ・マリアージュ

会長 田村浩次 幹事 久保康夫 会報委員(市村忠男・柳田尚宏・坂本光・太田浩彰・渡邊佳真)

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(商工会館内)

TEL 0285-84-2511 FAX 0285-84-2510

e-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

■米山奨学金授与

チュア・チー・シェン君



恒例の肩組みです！

■幹事報告

幹事 久保 康夫 君

- ①9月24日に8,000円(月見、花見例会分)を引き落としさせていただきます。次週月見例会は夜間例会。チャットパレスで5:30より。バス送迎は5:00会議所です。
- ②10月24日世界ポリオデー「あなたは何をしますか？」
- ③10月は米山月間です。2015-16年度版豆辞典が届きます。企画もお願いしますとの事で、ダット君とチュア君の卓話を予定しています。
- ④会長の判断で災害見舞金の募金を行います。送金先は10月の理事会で決定いたします。
- ⑤広島の上原RC会長藤井様からお見舞いの電話を頂戴致しました。
- ⑥11月13日の地区ゴルフの締め切り連絡が来まして、真岡RCは13名で二番目に多かったのですが、私の登録ミスで、今回欠場になってしまいました。地区RCコンペ出場を希望していた方々には大変申し訳ございませんでした。真岡市民ゴルフの方でよろしく願い致します。ガバナー事務所にも丁重にお詫びいたしました。
- ⑦訪台のメンバーが決定致しました、田村会長、姉妹クラブ小林さん、奉仕プロジェクト齊藤さん、スマイル委員会見目さん、そして私の5名です。
- ⑧益子RCより月見例会のご案内
9/30 水曜日6:30～ 昭和ふるさと村
大船渡の秋刀魚を食べる会
例会なのでメイクアップ扱いになります。



■本日のスマイルボックス

見目 良一 君
頼近 龍 君

●田村浩次会長

米山奨学生チュア君、勉強にはげんでますか？マレーシアと日本のかけ橋となれる人材に育てて下さい。今日の卓話を担当してくれます平石・石井会員、お二人の個性が表現できるお話を期待しています。

●久保康夫幹事

本日も足元の悪い中ご出席頂きありがとうございます。

石井さん、平石さん、卓話ご苦労様です。歓迎会もやってないのに卓話なんて失礼かと思ひ、遅くなりました。前年度の親睦委員長代理に小言の一つも言っして下さい。

●宇賀神裕一エレクト

石井さん、平石さん、本日の卓話宜しくお願いします。

●宇南山照信会員

次世代に伝えるため寺の写真集(16頁)、青山学院大学の教授が英訳を本日引き受けてくれました。出来上がって皆さんに見ていただけるまで生きられるよう頑張っています。

●岡本俊夫会員

石井さん、平石さん、本日は卓話御苦労様です。御両人もロータリーを楽しんでいる様子、羨しく思います。

●福原一郎会員

平石さん、卓話ごくろうさまです。石井さん、早々に卓話に登場ですが、話は慣れたものでしょう。各地の水害のお見舞いを申し上げます。

●広瀬紀夫会員

石井さん、平石さん、卓話楽しみに拝聴いたします。

●海老原均会員

平石典嗣さん、石井誠さん、本日は卓話ありがとうございます。頑張ってください。

●齊藤敏彦会員

石井支店長、平石さん卓話ご苦労様です。平石さん<仕事>持ってきてね!!

●石塚龍夫会員

石井さん、平石さん、卓話ありがとうございます。

●豊田光弘会員

本日は、石井さん、平石さん卓話ご苦労様です。「地方再生と再生可能エネルギー」・「私の仕事」じっくりと聞かせていただきます。頑張ってください。

●石井誠会員

本日は内部卓話を仰せつかり、大変緊張しています。つたない話ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



■内部卓話①

平石 典嗣 君 「私の仕事」

ご紹介戴きました平石でございます。今日は「私の仕事」というテーマでお話をさせて戴きます。お手元の資料をご覧になりながらお聞き下さい。

私の会社は社名を「平安実業」といまして、プラスチックの成型加工を生業としております。名前の「平安」から冠婚葬祭関係の会社と間違われることもありまして。294号線を南下して久下田の町中に入った所、NTTドコモの裏手の高台にあります。

プラスチックがどのようにしてできるかをご説明します。プラスチックの大本は原油で、出光や日石、昭和シェルなどの元締めが原油を蒸留します。その過程で、沸点の違いにより軽油・灯油・ガソリンなどが精製されます。ガソリンの次に沸点が低いものがナフサと呼ばれ、これがプラスチックの原料になります。

ナフサを熱分解すると、エチレン・プロピレン・ブタジエンなどの原料分子に分かれ、それらを様々に組み合わせることによってプラスチックの原料ペレットができます。ペレットについている色が皆さんの周りにあるプラスチックの色になります。



プラスチックは大きく熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の2つに分けることができます。我々の周りにあるプラスチックは99%が熱可塑性です。このネームプレートも、席札も、ほとんどすべてが熱可塑性のプラスチックです。熱可塑性樹脂は加工しやすく、バリが出ず、着色もしやすいという特徴がありますが、熱硬化性樹脂はその逆で、熱に強いという長所しかありません。フライパンの取っ手、灰皿、車のエンジン周りの部品などに使われています。

4月に移動例会でお邪魔した齊藤さんのホンデン製作所は熱可塑性樹脂を扱う会社で、私の平安実業は熱硬化性樹脂を扱う会社です。

熱可塑性と熱硬化性の違いは、食べ物にたとえられます。熱可塑性はチョコレートやチーズで、温めれば溶けますが、冷えればまた固まります。ところが熱硬化性は一度熱を加えてしまうと冷やしても戻りません。ゆで卵にたとえると解りやすいでしょう。したがって、リサイクルが効かないというのが熱硬化性の特徴になります。

また、熱硬化性樹脂の場合は、成型加工をする際に必ずバリが出ます。写真にある鯛焼きはバリの分まで食べられますが、プラスチック製品はバリがあると使い物になりません。このバリ取りが大変な作業になります。

熱可塑性でも熱硬化性でも、プラスチックの成型には一般的に射出成型を用います。射出成型機に入った原料ペレットは、高速で回転するスクリーンの働きで水飴状になります。その水飴状のものを金型に流し込み、成型するわけです。

熱硬化性樹脂の場合は、写真にある紙粘土状のものを開けておいた金型に入れ、金型を閉じて成型が終わるまで20分ほど待つという方法もあります。この写真では2千円くらい原料代がかかっていますが、金型を開けたとききちんとした製品が出てくるとは限りません。規格外の製品が出てきたときにはショックが大きいです。けっこうリスクな仕事でもあると思います。また、バリが200℃前後に熱せられた金型の中にも残るので、それを取り去るのがなかなか大変です。

以上、プラスチック成型についてお話しいたしました。久下田の方にいらっしゃることがありましたら、ぜひうちの会社にお寄り下さい。ありがとうございました。



■内部卓話②

石井 誠 君
「地方創生と再生可能エネルギー」

石井でございます。先週栃木県企業局の局長様が卓話にいらっしゃってエネルギー戦略の話をしていただきました。私も新規開拓をする際、人と同じではやっていけないという自分の信条に基づき、ここ数年は再生可能エネルギーに取り組んでおりました。

現在、地球の環境負荷を抑えるために再生可能エネルギーが注目を浴びていますが、特に東日本大震災以降は太陽光発電の固定価格買取制度などが生まれたため、銀行としてもビジネスチャンスととらえたわけです。

再生可能エネルギーとの出会いは、平成18年黒磯支店にいたときでした。那須温泉の温泉排水のエネルギーを熱交換によって利用することを考えました。

次の出会いは、平成23年茂木支店でのごことでした。道の駅もてぎ内に水車小屋があります。このままにしておくのはもったいないと感じ、小水力発電をすべく、茂木町自然エネルギー開発委員会を立ち上げました。町長や副町長にも協力を仰いで実験を続け、SLの形をしたLEDパネルを点灯させるまでに至っております。



うらへつづく

埼玉県の深谷支店に配属になったときには、養豚用機具販売の社長様と意気投合し、太陽光発電に力を入れることになりました。当時はまだ皆さんの太陽光発電に関する知識も少なかったので、自宅で実験するところから始まりました。

自宅のベランダに単結晶と多結晶の太陽光発電パネルを設置して発電状況をモニタリングします。単結晶と多結晶はどういう場合に適しているかや、設置する角度、発電の時間帯なども研究しました。こういうデータをお客様に提供し、太陽光発電への理解を深めて戴くわけです。

当時40メガの太陽光発電の案件があり、最終的に20メガ（約6,600戸を賄える電力）の発電所を造ることができました。

ただ、現在では様々な企業が太陽光発電を行い、変電所の容量も無くなってきました。また、天気による発電量の格差が激しいのでベース電源にはなれません。そのため、新たな再生可能エネルギーを探さなければならない時期になっているわけです。

ここで地方創生と話が繋がってくるのですが、分散型のエネルギー、地産地消のエネルギーを作れないかという取り組みをしております。

この真岡市でも廃棄される物がたくさんあります。家庭の生ゴミ、食品の残渣、工場からの廃棄物などがありますので、これらを利用した発電が考えられます。

ドイツでは太陽光発電はすでに飽和し、メタンガスを利用する発電が広まって、すでに1万箇所もあるそうです。これからの日本もバイオガス発電を行い、地方創生に繋げるべきだと思ひまして、北海道を視察しました。

バイオガス発電所は日本に111箇所あり、牧場を中心に酪農家が乳牛の糞尿を利用したメタンガス発電を行っていますが、再生可能エネルギーに占める割合はまだ1~2%です。これから普及していく発電方法だと思われまます。

私はドイツで130基ほどを経営している外国人の社長や日本からの研究者と情報交換を行い、食品メーカー10社から原料（豆腐のおから・廃油・ヤマトイモのカス・麺類などの廃棄物）を預かって、バイオマス発電をやってみることにしました。ドイツの方の見積もりでは500KW程度（太陽光換算では4メガ）の発電が見込めるとのことでした。

メタン発酵の長所は、24時間ガスが出続けるのでベース電源になれるという点です。メタンガス発電の固定買取額は39円ですから太陽光発電よりも有利です。メタンガス発電の経験のある大学の先生にもお願いして、今まさに私も研究をしている最中です。

深谷では「バイオガス発電の仲間になりましょう！」と新規のお客様をお願いしたところ、20社からお取引引きを戴けました。

真岡にも食品工場がたくさんありますので、大量の廃棄物が出ると思います。酪農によって生じる糞尿も利用できそうです。また、発電と同時に副産物としてお湯ができますので、苺のビニルハウスの熱源として使えます。農工連携により真岡らしい産業

を生み出せそうです。

ただ、メタンガスは赤ちゃんのお腹にたとえられるほどデリケートなガスで、扱うためのノウハウが日本ではまだ足りません。ドイツからそのノウハウを採り入れ、真岡でも深谷に続いてメタンガス発電の礎を築きたいと思っています。

私はこのような「再生可能エネルギー馬鹿」でして、銀行内でも頭取以下みんなの間で有名になっております。何か話題になると、私のところに質問に来るようになりました。

これからも再生可能エネルギーに取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



続けて登場の石井です。
今回の出席率は90%を切ってしまいました。
事後メイクに期待します！



■9月17日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	696,130
会員	29,000
ビジター	0
合計	29,000
累計	725,130
前回までの米山繰越金	8,486
米 山	0
累計	8,486
前回までのその他繰越金	0
その他	0
累計	0
合計金額	733,616

■9月17日のお食事

No Photo

とても美味しいお魚のフライのお弁当だったのですが、写真を取り忘れてました。申し訳ありません。

■本日のプログラム

9月27日(日)

<月見例会>
チャットパレス

■次回のプログラム

10月1日(木)

<月初例会>
誕生日祝・結婚記念日祝

■月間予定

10月														11月																												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7					
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
月初例会							例会 (炉辺会合発表)							例会 (米山奨学生卓話)							老人・身障者スポーツ大会							例会 (商工会会頭卓話)									月初例会					

■出席報告

在籍52名	出席免除2名(資格者1名 + 有理由者1名)										
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	出席	欠席	出席率	本年度累計出席率				
補正後9月3日	50	0	1	47	2	96.00%					
9月17日	50	3	—	41	6	88.00%					
6月出席率	7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率	2月出席率	3月出席率	4月出席率	5月出席率
84.74%	97.52%	96.73%									